

練習課題 NO.20 設計課題「景勝地に建つ土間スペースのある週末住宅(木造 2 階建て)」

1. 設計条件

ある地方都市の景勝地において、山菜採りを趣味にする親世帯夫婦と絵手紙を趣味にする子世帯夫婦が、土間スペースのある週末住宅を計画する。

計画に当たっては、次の点に留意すること。

- ① 食事室・台所は、土間スペースとし、明るく開放的な空間となるように食事室・台所の床面積の 1/2 以上を吹抜け(2 階の廊下等から 1 階が見えるようにする)とし、上下階の空間につながる計画とする。
- ② 親世帯と子世帯の玄関はそれぞれ別に設け、出入口を明確に分離し、屋内の1階部分で行き来できるようにする。
- ③ 趣味室は、子世帯夫婦の共通の趣味である絵手紙の制作に利用するか、家族の友人等を招待する空間とする。
- ④ 建築物の耐震性を確保する。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の制限60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造及び階数

木造2階建とする。

(3) 延べ面積

必ず「210㎡以上、240㎡以下」とする。  
(床面積についてはピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、駐車スペース等は、床面積に算入しないものとする。)

(4) 家族構成等

- ア. 親世帯:夫婦(70歳代)
- イ. 子世帯:夫婦(40歳代)、子供2人(男子高校生、女子中学生)

(5) 要求室

下表すべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

設置階	室名	特記事項
1階	親世帯玄関	ア. 下足入れを設ける。 イ. 主に親世帯・山菜採りに利用する。
	居間	ア. 広さは、適宜とする。 イ. 親世帯と子世帯も共に利用する。
	食事室・台所	ア. 広さは26㎡以上とし、土間スペースとする。 イ. 床面積の1/2以上の吹抜けを設ける。 ウ. 親世帯と子世帯も共に利用する。 エ. 親世帯玄関からも直接出入する。 オ. 屋外テラスと一体的に利用できるようにする。
	子世帯玄関	ア. 下足入れを設ける。 イ. 主に子世帯が利用する。
	趣味室	ア. 広さは適宜とし、専用便所及び収納を設ける。 イ. 準備室を設け、流し台(1,200mm×600mm)を設ける。 ウ. 画材を保管する棚(1,800mm×300mm)・テーブル(1,800mm×900mm)・いす(6席)を設ける。
	親世帯夫婦室	・洋室16㎡以上とし、その他に収納を設ける。
	家事室	・広さは適宜とする。
	浴室	・広さは適宜とする。
	洗面脱衣室	・広さは適宜とする。
	便所	ア. 3㎡以上とする。 イ. 洋式便器、手洗い器を設ける。
2階	子世帯夫婦室	・洋室19㎡以上とし、その他にウォークインクローゼット6㎡以上及び収納を設ける。
	子ども室(2室)	・洋室9㎡以上とし、その他に収納を設ける。
	家事室	・洋室6㎡以上とする。
	浴室	・広さは適宜とする。
	洗面脱衣室	・広さは適宜とする。
	便所	・心々1,365mm×1,365mm以上とする。

(注) 1階の廊下の幅は心々1,365mm以上とする。

(6) 屋外施設等

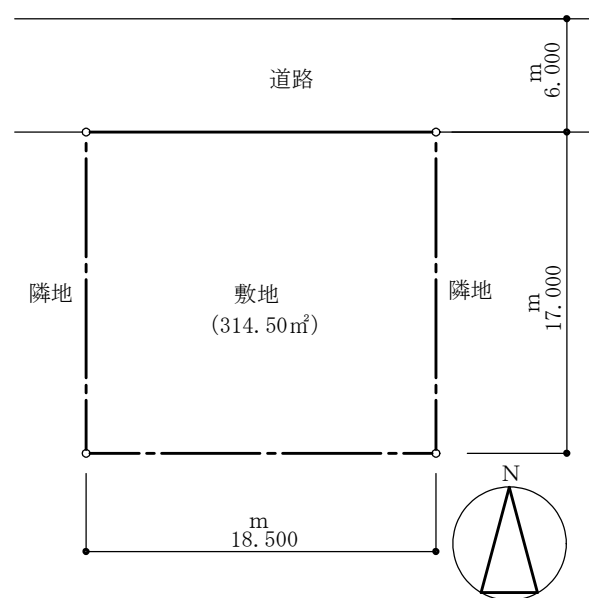
屋外に下記のものを計画する。

名称	特記事項
屋外テラス	・広さは20㎡以上とする。 ・食事室・台所から直接行き来できるようにする。 ・テーブル・いす(6席)を設ける。
駐車スペース	・小型乗用車(5人乗り)2台分を設ける。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の 1 目盛は、4.55mm(部分詳細図にあつては、10mm)である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。

要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
1階平面図 兼 配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 道路から玄関へのアプローチ、駐車スペース、門、塀、植栽等を記入する。 ウ. 室名を記入する。 エ. 趣味室には、棚、テーブル、いす、その他(趣味室の専用便所には、洋式便器、手洗い器、準備室には、流し台)、親・子世帯玄関には、下足入れ、食事室・台所には、テーブル、いす、台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等)、居間には、ソファ、親世帯夫婦室には、ベッド、家事室には、洗濯機、浴室には、浴槽、洗面脱衣室には、洗面台、便所には、洋式便器、手洗い器を記入する。 オ. 「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。(注)「耐力壁」とは、筋かい等を設けた構造上有効な壁をいう。(以下同じ) カ. 断面図の切断位置を記入する。
2階平面図 (1/100)	ア. 建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 室名を記入する。 ウ. 子世帯夫婦室には、ベッド、子ども室には、ベッド、家事室には、洗濯機、浴室には、浴槽、洗面脱衣室には、洗面台、便所には、洋式便器、手洗い器を記入する。 エ. 「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。 オ. 1階の屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 カ. 断面図の切断位置を記入する。
2階床伏図 兼 1階小屋伏図 (1/100)	ア. 部材(通し柱、1 階及び 2 階管柱、胴差、2 階床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋束)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く)を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 ウ. 建築物の主要な寸法を記入する。
立面図 (1/100)	ア. 北側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。
断面図 (1/100)	ア. 切断位置は、1階・2階それぞれの外壁の開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形及び床面、天井面の形状がわかるものとする。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。
部分詳細図 (1/20)	ア. 屋外テラスを含む基礎部分とする。 イ. 作図の範囲は、柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 主用部材(基礎など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 エ. 床高などの寸法を記入する。 オ. 床などの仕上材料名を記入する。 カ. 1階床部分の断熱・防湿措置を記入する。
面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
仕上表	ア. 主要な屋根の勾配を記入する。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(居間)の主要な部位(床、内壁、天井)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。
計画の要点等	建築物及び敷地の計画に関する次の①～③について、それぞれ箇条書きで具体的に記述する。 ① 食事室・台所の計画で工夫した点 ② 子ども室の計画で工夫した点 ③ 駐車スペースの計画で工夫した点



敷地図(縮尺:1/400)